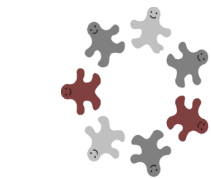




NPO 法人 日本小児がん看護学会

Japanese Society of Pediatric Oncology Nursing
— JSPON —
News Letter Vol.17



今年は、例年より早めの梅雨入りが報告されましたが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。日本小児がん看護学会は 11 年目に入り、内田雅代新理事長以下、新しい体制になりました。小児がん拠点病院も決まり、小児がん医療は新しい時代に進もうとしています。本学会は、社会や医療の発展を見据えて、会員の皆様や小児がんの子ども・家族、さらには社会に貢献できる様に活動を続けていきたいと思ひます。

今回のニュースレターでは、第 11 回日本小児がん看護学会、第 10 回小児がん看護研修会などのご案内に加えて、小児がん拠点病院の情報、第 10 回学会の報告をさせていただきます。尚今回から、小児がん看護の分野で活躍している小児看護専門看護師や認定看護師の方からのまめ知識をリレー形式で掲載する予定です。

第 10 回学会の演題締切は 6 月 20 日（木）です。演題登録には会員番号が必要です。詳細については、第 11 回学会のホームページにて確認してください。

(<http://www.jspho.jp/2013fukuoka/>)



第 11 回 日本小児がん看護学会のご案内

第 11 回日本小児がん看護学会を、日本小児血液・がん学会、がんの子どもを守る会とともに、福岡で開催させて頂くことになりました。今学会テーマは「つなぐ・つながる・支えあう～子どもと家族とともに歩む小児がん看護～」と致しました。がん対策基本法の制定から 5 年を経て、本年 2 月には「小児がん拠点病院」も決定し、小児がんの診療体制の充実とともに、子どもの成長発達を支えるケアや療養環境、地域医療機関との連携など、小児がん看護に求められる役割は重要となっています。

特別講演には、世界で最初の子どもホスピス「ヘレン・ダグラスハウス」の創設者であるシスターフランシスをお招きし、その 30 年の歩みを通して、進歩し続ける医療の中にあっても変わることのない「ケアの本質」についてご講演して頂きます。シンポジウムや WS は、「つなぐ」をキーワードに企画しています。また、合同プログラムやチャリティマラソンなども計

画されています。

多くの皆様に晩秋の福岡にお越し頂き、博多の味と風情を楽しみながら、研鑽と情報交換の場にして頂ければと思います。皆さまのご来福を心よりお待ち申し上げます。

第 11 回日本小児がん看護学会会長

九州大学大学院 医学研究院 濱 田 裕 子

開催期間： 2013 年 11 月 29 日（金）～12 月 1 日（日）
場 所： ヒルトン福岡シーホーク

プログラム：

特別講演 The Essence of Caring in Pediatric Palliative Care；

Sister Frances Dominica,
Helen & Douglas House,UK

シンポジウム 1：小児がん看護ケアの協働～小児がん患者と家族の生活と発達をつなぐ～

シンポジウム 2：小児がん看護を支える実践と研究の連関
ワークショップ 1：ともに考えよう！日々の看護ケア（口腔ケア、栄養管理、スキンケア等）

ワークショップ 2：小児がんの子どもを看とる看護師のグリーフケア

合同企画：日本における子どもホスピスのあり方と可能性を探る

など

演題募集期間： 2013 年 5 月 13 日（月）～6 月 20（木）
参 加： 当日受付のみ 看護師 10,000 円（三学会共通、すべての会場に参加可能）

＜小児がん拠点病院が決定しました＞

2012 年の「がん対策推進基本計画」の新案に小児がん対策が明記され、小児がん拠点病院が決定しました。都道府県単位で決定されている成人がんの診療連携拠点病院とは異なり、小児がんは全国を 7 ブロックに分けて 15 施設を国が指定しました（表 1）。これにより、小児がん医療を担う施設がある程度集約され、小児がんの疫学的データが明らかになります。また、地域格差の是正、医療の質の均てん化が図れることは、長期にわたり療養をされる患者家族にとって大きな期待がかかっています。

〔平成 24 年度会計報告〕

＜一般会計 収入の部＞

項目	決算額(円)	内訳
会員年会費	3,314,000	21 年度分¥5,000×1 名 22 年度分¥7,000×32 名 23 年度分×441 名
事業収入	232,508	研修会
寄付金	0	
雑収入など	48,641	学会誌販売、受取利息
前期繰越収支差額	5041,442	
計	8,636,591	

＜一般会計 支出の部＞

項目	決算額(円)	内訳
事業費	2,145,372	学術集会、抄録集・学会誌発行、広報活動、教育活動など
管理費	728,722	会議費、通信費など
計	2,874,094	

収入 8,636,591

支出 2,874,094

収支 5,762,497

〔小児がん看護学会誌編集委員会より〕

本会誌は、毎年 9 月に発行を行っております。

2 月末までに投稿されたものはその年の 9 月に掲載予定です。それ以降に投稿されたものは翌年に掲載予定となります。但し、年間を通じて投稿を受け付けておりますので、より多くの方に日々研鑽されている成果を是非ご発表下さい。日本小児がん看護学会誌投稿規定(平成 22 年度 7 月 24 日施行)は HP でご覧頂けます。

学会 HP: <http://www.jspon.com>



SIOP2012

今年の国際小児腫瘍学会(SIOP2012)は、ロンドンにて10月5日～8日の日程で開催されます。

<http://www2.kenes.com/siop/pages/home.aspx>

病院での研修は、現在検討中です。学会主催の病院見学が、9 月 28 日の午後に予定されています。参加申し込みは、現地の学会レセプションでのみ受け付けるそうです。今年は、アジアなので、是非皆さん一緒に行きましょう。基本コースは、9 月

24 日午前出発、28 日夜着、12万円程度で計画中です。研修にご興味のある方、ご要望のある方は、担当までご連絡下さい。学会前の研修が企画できた場合には、当学会のホームページでお知らせします。

(淑徳大学 小川: junogawa@soc.shukutoku.ac.jp)

第7回近畿小児がん研究会看護部門講演会

日時:平成25年6月29日(土)時間:午後14時から16時頃

場所:神戸三宮グランドビル2階

神戸市中央区磯上通2丁目2-21

テーマ:小児がんのトータルケア

演者:細谷亮太先生

参加費:500円

平成25年度 理事・監事

理事長:内田雅代

副理事長:丸光恵

理事:石川福江、井上玲子、小川純子、
小原美江、上別府圭子、鉦持瞳、塩飽仁、
竹之内直子、田村恵美、
野中淳子、平田美佳、前田留美、

監事:小倉美知子、藤原千恵子、森美智子

庶務・渉外:白井史、高橋百合子(長野県看護大学)

会計:石川福江、富岡晶子

広報:小川純子、井上玲子、田村恵美(ニュースレター)
塩飽仁(ホームページ)

平成 25 年度 委員会

現任教育委員会:竹之内直子、小川純子、鉦持瞳、
伊藤好美、前田邦枝、

編集委員会:野中淳子、上別府圭子、前田留美、
米山雅子、和田久美子、岡澄子

将来計画委員会:内田雅代、丸光恵、井上玲子、
上別府圭子、塩飽仁、田村恵美、前田留美、

国際交流委員会:丸光恵、小川純子、平田美佳
ケア検討委員会:小原美江、竹之内直子、平田美佳

学術検討委員会:内田雅代、小原美江、上別府圭子

事務局:長野県看護大学 発達看護学講座 小児看護学分野
〒399-4117
長野県駒ヶ根市赤穂 1694

日本小児がん看護研究会ニュースレター担当

淑徳大学看護学部 小川純子

東海大学健康科学部 井上玲子

筑波大学付属病院 田村恵美

〔連絡先〕 〒260-8703 千葉市中央区仁戸名町 673
E-mail: junogawa@soc.shukutoku.ac.jp

